取扱説明書

DuraVision®
FDS1904
FDS1904-OP
FDU2603W
FDU2603W-OP
カラー液晶モニター

FDS1904T
FDS1904T-OP
FDU2603WT
FDU2603WT-OP
タッチパネル装着カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書およびセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

- モニターの設置から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップマニュアルを参照してください。
- 最新の取扱説明書は、当社のWebサイトからダウンロードできます。
  http://www.eizo.co.jp

EIZO®

1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

セットアップマニュアルに記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブリリアンスを下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「クリーニングの仕方」（P.4）参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはEIZOサポートにお問い合わせください。

パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

（タッチパネル使用時の注意事項）

- タッチ操作時
  次の点に注意してください。故障の原因となります。
  - パネルを強く押したり、こすったり、突いたりしないでください。
  - ボールペンや金属類などの硬い物でパネルをタッチしないでください。

クリーニングの仕方

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、パネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
- パネル面とパネルの外枠との間に、液体が入らないように注意してください。

パネル面の汚れは、付属のクリーニングクロスを使用して、やさしくふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

モニターについて 3

クリーニングの仕方 4

モニターを快適にご使用いただくために 4

目次 5

第 1 章　はじめに 7

1-1.　特長 7

1-2.　EIZO LCDユーティリティディスクについて 8

● ディスクの内容と概要 8

1-3.　基本操作と機能一覧 9

● 調整メニューの基本操作方法 9

● ボタンガイドを表示する 10

● 機能一覧 11

第 2 章　画面を調整する 12

2-1.　解像度を設定する 12

● 表示解像度 12

● 解像度の設定方法 12

2-2.　画面を正しく表示する 13

● デジタル信号入力の場合 13

● アナログ信号入力の場合 13

2-3.　カラー調整をする 16

● ブリリアンス（明るさ）を調整する 16

● 色温度を調整する 17

● ガンマを調整する 17

● 色合いを調整する 17

● 色の濃さを調整する 18

● 輪郭補正をする 18

● ゲインを調整する 18

2-4.　表示サイズを切り替える 19

2-5.　オートシャープネスの有効/無効を設定する 19

第 3 章　モニターの設定をする 20

3-1.　フロントボタンの明るさを設定する 20

3-2.　表示言語を設定する 20

3-3.　調整メニューの位置を変更する 20

3-4.　調整メニューの向きを設定する 21

3-5.　DDC/CI通信の有効/無効を設定する 21

3-6.　操作ボタンをロックする 22

3-7.　Backlight Off Modeの設定をする 22

3-8.　ECDISインジケータのオン/オフを設定する 23

3-9.　初期設定に戻す 24

● カラー調整値をリセットする 24

● すべての設定内容をリセットする 24

● 画面の明るさを初期設定に戻す 24

第 4 章　タッチパネルの設定（FDS1904T/FDU2603WT） 25

4-1.　タッチパネルのキャリブレーションをする 25

4-2.　タッチパネルの操作設定をおこなう 27

4-3.　タッチ音を設定する 28

第 5 章　省電力機能について 29

5-1.　パワーセーブの設定をする 29

5-2.　モニターの自動電源切断機能の設定をする 30

第 6 章　こんなときは 31

6-1.　画面が表示されない場合 31

6-2.　画面に関する症状（デジタル・アナログ共通） 32

6-3.　画面に関する症状（アナログのみ） 33

6-4.　その他の症状 33

6-5.　タッチパネルに関する症状（FDS1904T/FDU2603WTのみ） 34

第 7 章　ご参考に 36

7-1.　複数のコンピュータを接続する 36

● 入力信号を切り替える 37

● 入力信号の切替方法を設定する 37

7-2.　モニター情報を表示する 38

● 信号情報を表示する 38

● モニター情報を表示する 38

7-3.　冷却ファンの交換方法 39

7-4.　仕様 43

● FDS1904/FDS1904-OP 43

● FDS1904T/FDS1904T-OP 44

● FDU2603W/FDU2603W-OP 46

● FDU2603WT/FDU2603WT-OP 47

● 入出力信号接続 50

7-5.　プリセットタイミング 52
第 8 章　用語集 53
付録 55
商標 55
ライセンス/著作権 56
舶用規格 56
船級型式承認 56
中国RoHS 56

第 1 章　はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 19.0型画面（FDS1904/FDS1904T）
- 25.5型画面（FDU2603W/FDU2603WT）
  大型船舶用レーダーとして要求される表示領域（縦：340mm以上）に対応します。
- 解像度1280 × 1024 対応（FDS1904/FDS1904T）
- 解像度1920 × 1200対応（FDU2603W/FDU2603WT）
- 広視野角パネル採用
  - 水平：178°、垂直：178°（FDS1904/FDS1904T）
  - 水平：176°、垂直：176°（FDU2603W/FDU2603WT）
- 低輝度までの調光を実現
  また、バックライトを消灯させるモードも搭載しました。
  （調整メニューの「ブリリアンス」を下限値にしたときの状態を設定できます。）
  「3-7. Backlight Off Modeの設定をする」（P.22）
- モニターのフロントボタンが点灯
  暗い環境でもモニターの操作ができるよう、フロントボタン（操作ボタン）が橙色に光ります。光の明るさを調整することもできます。
  「3-1. フロントボタンの明るさを設定する」（P.20）
- 冷却ファンの交換が可能
  「7-3. 冷却ファンの交換方法」（P.39）
- 警報ブザーを搭載
  システム側から制御します。
- AC / DC電源を搭載
  AC電源入力およびDC電源入力を搭載し、多様な設置環境への導入に対応します。また、両方の電源に接続しておくことで、AC電源の異常時のバックアップとしても利用できます。（両方に接続した場合は、AC電源が優先して動作します。）
- 著作権保護技術HDCP対応
- 船級の型式承認
  この装置は、次の船級の型式承認を取得予定です。
  - NK（日本海事協会）
  - DNV（ノルウェー船級協会）
  - ABS（アメリカ船級協会）
  - LR（ロイド船級協会）

  船級の取得状況については、当社Webサイトでご確認ください。http://www.eizo.co.jp
- 舶用規格
  この製品は、IEC60945 4thに準拠しています。
- 画面強度や視認性を高めるボンディング加工※1に対応（オプション：FDS1904-OP/FDS1904T-OP、FDU2603W-OP/FDU2603WT-OP）
  ※1 液晶パネルとクリアパネル/ タッチパネルの隙間（空気層）を樹脂で埋めて貼り合せる技術です。

（FDS1904T/FDU2603WTのみ）

- タッチパネル標準装備
  - 投影型静電容量方式を採用
  - Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7のWindowsタッチ機能（マルチタッチ）に対応しています。

1-2. EIZO LCDユーティリティディスクについて

この製品には「EIZO LCDユーティリティディスク」（CD-ROM）が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は次のとおりです。

● ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、タッチパネル用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内のReadmeja.txtを参照してください。

内容	概要
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。
タッチパネルドライバ※1	タッチパネルのドライバです。※2 ※ 次の条件を満たす場合は、Windows標準のドライバを使用します。 ・コンピュータとモニターをUSBケーブルで接続している ・OSがWindows 8.1 / Windows 8 / Windows 7である 設定方法などについては、（「第 4 章 タッチパネルの設定（FDS1904T/FDU2603WT）」（P.25））を参照してください。
TPOffset※1	タッチパネルの感度を調整するソフトウェアです。※2 タッチ操作が効かなかったり、強く押さないと反応しないような場合にご利用ください。
モニターの取扱説明書（PDFファイル）	
Readmeja.txtファイル	

※1 FDS1904T/FDU2603WTの場合にのみ使用します。
※2 インストール方法や使用方法については、ディスク内のそれぞれの取扱説明書を参照してください。

1-3. 基本操作と機能一覧

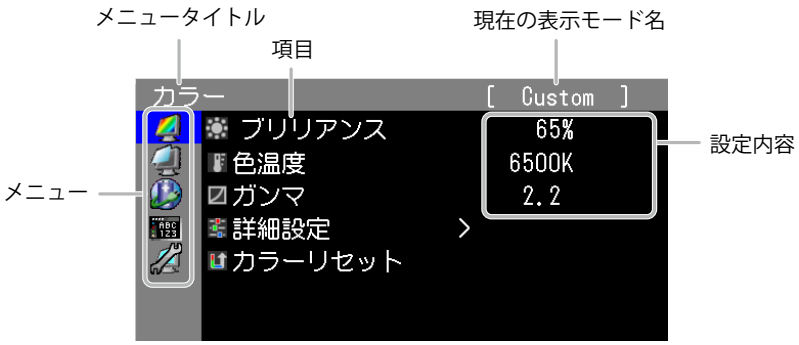
● 調整メニューの基本操作方法

参考

・初期設定では、表示言語は「英語」に設定されています。表示言語を変更する場合は、「3-2. 表示言語を設定する」（P.20）を参照してください。

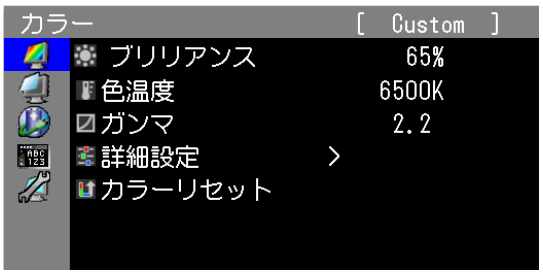
1. 調整メニューの表示

1. ⦿を押し、調整メニューを表示します。

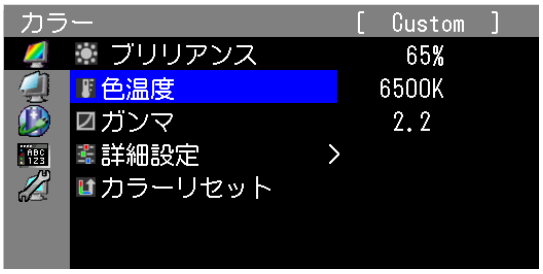


2. 調整/設定

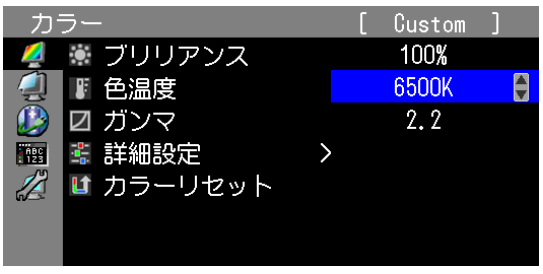
1. ◀▶で、調整/設定したいメニューを選択し、⦿を押します。



2. ◀▶で、調整/設定したい項目を選択し、⦿を押します。



3. ◀▶で、調整/設定し、⦿を押して確定します。

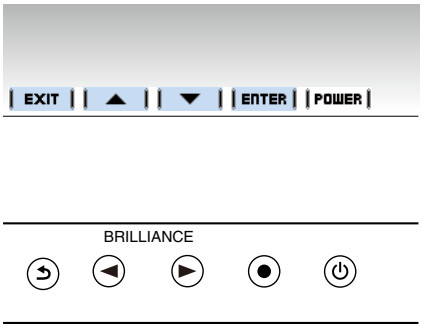


3. 終了

1. ㊀を数回押すと、メニューを終了します。

● ボタンガイドを表示する

㊂以外のフロントボタンを押すと、ボタンの上にボタンガイドが表示されます。



参考

- 調整メニュー表示中は、ボタンガイドが常に画面に表示されます。
- ボタンガイドの表示は、表示しているメニューや状態によって異なります。

● 機能一覧

調整メニューの調整および設定項目一覧表です。

メインメニュー	項目		参照先
カラー※1	ブリリアンス		「2-3. カラー調整をする」（P.16）
	色温度※2		
	ガンマ※2		
	詳細設定	色合い※2	
		色の濃さ※2	
		輪郭補正	
		ゲイン※2	
	カラーリセット		「3-9. 初期設定に戻す」（P.24）
スクリーン	画面サイズ		「2-4. 表示サイズを切り替える」（P.19）
	アナログ調整	自動調整	「2-2. 画面を正しく表示する」（P.13）
		レンジ調整	
		クロック	
		フェーズ	
		水平ポジション	
		垂直ポジション	
Power Manager	パワーセーブ		「5-1. パワーセーブの設定をする」（P.29）
	ランプ輝度		「3-1. フロントボタンの明るさを設定する」（P.20）
	Ecoタイマー		「5-2. モニターの自動電源切断機能の設定をする」（P.30）
メニュー設定	言語選択		「3-2. 表示言語を設定する」（P.20）
	メニューポジション		「3-3. 調整メニューの位置を変更する」（P.20）
ツール	入力		「入力信号を切り替える」（P.37）
	入力切替		「入力信号の切替方法を設定する」（P.37）
	オートシャープネス		「2-5. オートシャープネスの有効/無効を設定する」（P.19）
	入力信号情報		「7-2. モニター情報を表示する」（P.38）
	モニター情報		
	オールリセット		「3-9. 初期設定に戻す」（P.24）

※1 製品に適用されている表示モードによって、「カラー」で調整出来る項目が異なります。
※2 ECDIS規格に適合した3つのモード（Day、Dusk、Night）では調整できません。

注意点

- 表示モードには、ECDIS規格に適合した3つのモード（Day、Dusk、Night）と、お好みに応じた設定ができるモード（Custom）があります。ただし、表示モードはモニターの操作では変更できません。システムからの制御で変更できます。

第 2 章　画面を調整する

2-1. 解像度を設定する

● 表示解像度

この製品の対応解像度については、セットアップマニュアル「表示解像度について」を参照してください。

● 解像度の設定方法

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

Windows8.1 / Windows 8 / Windows 7の場合

1. Windows 8.1 / Windows 8の場合、スタート画面から「デスクトップ」のタイルをクリックして、デスクトップを表示します。
2. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
3. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
4. 「画面の解像度」ダイアログボックスで、モニターを選択します。
5. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
6. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
7. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「変更を維持する」ボタンをクリックします。

Windows Vistaの場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログボックスで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

Windows XPの場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されるので、「設定」タブをクリックし、「ディスプレイ」の「画面の解像度」で解像度を選択します。
4. 選択したら、「OK」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

Mac OS Xの場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

2-2. 画面を正しく表示する

● デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、この製品の設定データに基づいて画面が正しく表示されますが、詳細な調整をおこなう場合は「2-3. カラー調整をする」（P.16）以降を参照してください。

● アナログ信号入力の場合

注意点

- 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて30分以上経過してからおこなってください。
- 垂直解像度が480以下の信号ではセルフアジャスト機能は働きません。
- セルフアジャスト機能/自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。
  - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合
  - 壁紙など背景を黒で使用している場合

また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

参考

- 次の場合にセルフアジャスト機能が働きます。
  - モニターに初めて信号を入力した場合、または、これまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくために、次の設定手順に従って画面の調整をしてください。

設定手順

1. アナログ画面調整用のパターンを準備します。

「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセットし、「画面調整パターン集」を開きます。

参考

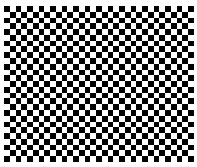
- 「画面調整パターン集」の開き方および内容については、Readmeja.txtファイルを参照してください。

2. アナログ画面調整用のパターンを表示して、自動調整をします。

- 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する

設定方法

1. 「画面調整パターン集」のパターン1を画面全体に表示します。



2. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、⦿を押します。
3. 「スクリーン」で「アナログ調整」を選択し、⦿を押します。
4. 「アナログ調整」で「自動調整」を選択して、⦿を押します。

   自動調整機能が働き（「実行中」とメッセージが表示されます）、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

   自動調整が完了するとメッセージが表示されます。確定する場合は「OK」を、元に戻す場合は「キャンセル」を選択して⦿を押します。

自動調整を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、「4. 色階調を調整します。」（P.16）にお進みください。

3. 「スクリーン」の「アナログ調整」で詳細な調整をします。

クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。

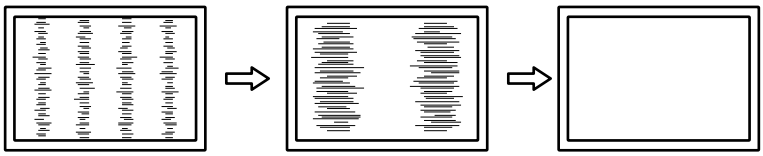
- 縦縞を消す

設定方法

1. 「アナログ調整」で「クロック」を選択し、⦿を押します。
2. ◀または▶で縦縞が消えるように設定します。

   設定が合ったポイントを見逃しやすいので◀▶をゆっくり押して設定するようにしてください。
3. 設定が完了したら⦿を押します。

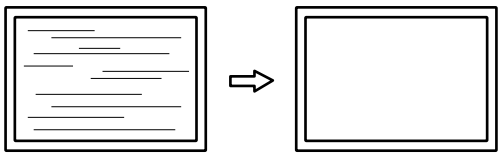
   設定後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる」に進み設定をおこなってください。



ちらつきやにじみをとる

設定方法

1. 「アナログ調整」で「フェーズ」を選択し、⊙を押します。
2. ◄または►で最もちらつきやにじみのない画面に設定します。
3. 設定が完了したら⊙を押します。



注意点

・お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

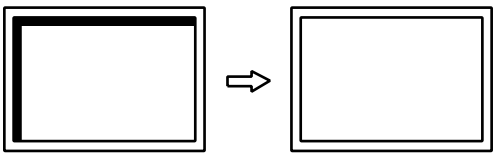
表示位置のずれを直す

参考

・液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1 箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

設定方法

1. 「アナログ調整」で「水平ポジション」または「垂直ポジション」を選択し、⊙を押します。
2. 画像の位置が合うように◄または►で設定します。
3. 設定が完了したら⊙を押します。
   設定後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す」に戻り、再度設定をおこなってください。（クロック→フェーズ→ポジション）



4. パターン1を閉じます。

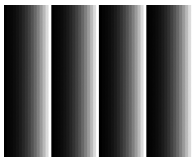
4. 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0 ～ 255）を表示できるように調整できます。

設定方法

1. 「画面調整パターン集」のパターン2を画面全体に表示します。



2. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、⊙を押します。
3. 「スクリーン」で「アナログ調整」を選択し、⊙を押します。
4. 「アナログ調整」で「レンジ調整」を選択して、⊙を押します。
   色階調が自動的に調整されます。
   自動調整が完了するとメッセージが表示されます。確定する場合は「OK」を、元に戻す場合は「キャンセル」を選択して⊙を押します。
5. パターン2を閉じます。

2-3. カラー調整をする

注意点

- 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて30分以上経過してからおこなってください。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- 「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。

● ブリリアンス（明るさ）を調整する

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

1～100%	「Backlight Off Mode」:「オフ」設定時（P.22）
0～100%	「Backlight Off Mode」:「オン」設定時（P.22） （設定を下限値（0%）にすると、バックライトが消灯し画面が真っ暗になります。）

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、⊙を押します。
2. 「カラー」で「ブリリアンス」を選択し、⊙を押します。
3. ◀または▶で設定します。
4. 設定が完了したら⊙を押します。

参考

- 直接◀または▶を押して設定することもできます。（設定値は調整メニューの「カラー」を表示して確認してください。）
- ◀または▶を長押してブリリアンスを調整している際、初期設定値に達すると、調整を止めます。再度◀または▶を押すと調整を続けることができます（「ECDISインジケータ」：「オン」、モニターの表示モード：「Day」、「Dusk」、「Night」時）。

● 色温度を調整する

色温度を調整します。
通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。
炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定範囲

Native、4000K～10000K（500K単位、9300K含む）

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、⊙を押します。
2. 「カラー」で「色温度」を選択し、⊙を押します。
3. ◄または►で設定します。
4. 設定が完了したら⊙を押します。

参考

- 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する」（P.18）参照）。
- 「Native」でパネル本来の色（ゲインの値はRGB各100%）になります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。

● ガンマを調整する

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

設定範囲

1.8、2.0、2.2、2.4、2.6

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、⊙を押します。
2. 「カラー」で「ガンマ」を選択し、⊙を押します。
3. ◄または►で設定します。
4. 設定が完了したら⊙を押します。

● 色合いを調整する

色合いを調整します。

設定範囲

-100～100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、⊙を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、⊙を押します。
3. 「色合い」を選択し、⊙を押します。
4. ◄または►で設定します。
5. 設定が完了したら⊙を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

● 色の濃さを調整する

色の濃さを調整します。

設定範囲

-100～100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、⊙を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、⊙を押します。
3. 「色の濃さ」を選択し、⊙を押します。
4. ◀または▶で設定します。
5. 設定が完了したら⊙を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 最小値（-100）で白黒の画面となります。

● 輪郭補正をする

画像を構成するピクセル間の色の差を強調することにより、画像の輪郭を強調するとともに質感、素材感を向上させる機能です。逆に輪郭をぼかして画像をなめらかに見せることもできます。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、⊙を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、⊙を押します。
3. 「輪郭補正」を選択し、⊙を押します。
4. ◀または▶で表示状態を-3～3（ソフト～シャープ）の範囲から好みに応じて選択します。
5. 調整が完了したら⊙を押します。

● ゲインを調整する

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

設定範囲

0～100%

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、⊙を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、⊙を押します。
3. 「ゲイン」を選択し、⊙を押します。
4. 「Red」、「Green」、「Blue」の中から調整する色を選択し、⊙を押します。
5. ◀または▶で設定します。
6. 設定が完了したら⊙を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

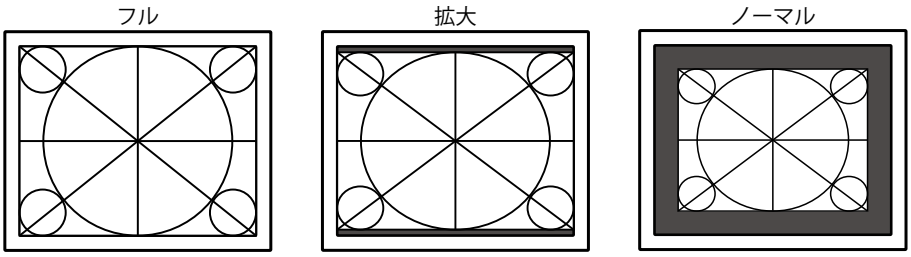
- 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。

2-4. 表示サイズを切り替える

推奨解像度以外の解像度は、自動的に画面全体に拡大されますが、「スクリーン」の「画面サイズ」機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

設定	機能
フル	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例：1024×768を表示した場合



	フル	拡大	ノーマル
FDS1904/FDS1904T:	（1280×1024）	（1280×960）	（1024×768）
FDU2603W/FDU2603WT:	（1920×1200）	（1600×1200）	（1024×768）

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、⊙を押します。
2. 「スクリーン」で「画面サイズ」を選択し、⊙を押します。
3. ◄または►で「フル」/「拡大」/「ノーマル」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら⊙を押します。

注意点

- 「ノーマル」を選択した場合、すべての色階調を表示できないことがあります。

2-5. オートシャープネスの有効/無効を設定する

オートシャープネスを有効にすると、表示画像に応じて画像の輪郭を調整し、質感、素材感を向上させることができます。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、⊙を押します。
2. 「ツール」で「オートシャープネス」を選択し、⊙を押します。
3. ◄または►で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら⊙を押します。

参考

- 「輪郭補正」の設定値に応じて調整度合いが変わります。

第 3 章　モニターの設定をする

3-1. フロントボタンの明るさを設定する

フロントボタン（操作ボタンおよび電源ボタン）の明るさを設定することができます。

注意点

- フロントボタンはそれぞれ次のときに点灯し、初期設定では「4」に設定されています。
  - 電源ボタン：電源コードを電源コンセントに接続したとき
  - 操作ボタン：電源を入れたとき

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、⊙を押します。
2. 「PowerManager」で「ランプ輝度」を選択し、⊙を押します。
3. ◄または►で明るさを1～7の範囲から好みに応じて選択します。
4. 設定が完了したら⊙を押します。

3-2. 表示言語を設定する

調整メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、中国語（簡体）、中国語（繁体）

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、⊙を押します。
2. 「メニュー設定」で「言語選択」を選択し、⊙を押します。
3. ◄または►で言語を選択します。
4. 設定が完了したら⊙を押します。

3-3. 調整メニューの位置を変更する

調整メニューの表示位置を移動できます。

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、⊙を押します。
2. 「メニュー設定」で「メニューポジション」を選択し、⊙を押します。
3. ◄または►で位置を選択します。
4. 設定が完了したら⊙を押します。

3-4. 調整メニューの向きを設定する

モニターを縦型表示にした場合は、調整メニューの向きも変更することができます。
初期設定：横置き

設定方法

1. ⏻ を5秒以上押して、モニターの電源を切ります。
2. ↩ を押しながら ⏻ を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「設置方向」を選択し、● を押します。
4. ◀ または ▶ で「横置き」または「縦置き」を選択し、● を押します。
5. ◀ または ▶ で「完了」を選択します。
6. ● を押します。
   「オプション設定」メニューが閉じます。

参考

- モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社のWebサイトもあわせて参照してください（http://www.eizo.co.jp）。

3-5. DDC/CI通信の有効/無効を設定する

DDC/CI通信の有効/無効を切り替えます（「第 8 章 用語集」（P.53）参照）。

設定方法

1. ⏻ を5秒以上押して、モニターの電源を切ります。
2. ↩ を押しながら ⏻ を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「DDC/CI」を選択し、● を押します。
4. ◀ または ▶ で「オン」または「オフ」を選択し、● を押します。
5. ◀ または ▶ で「完了」を選択します。
6. ● を押します。
   「オプション設定」メニューが閉じます。

3-6. 操作ボタンをロックする

調整/設定した状態を変更できないようにします。

設定方法

1. ⏻ を5秒以上押して、モニターの電源を切ります。
2. ⮌ を押しながら ⏻ を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「操作ロック」を選択し、◉ を押します。
4. ◀ または ▶ で「オフ」/「メニュー」/「オール」のいずれかを選択し、◉ を押します。

設定項目	ロックできるボタン
オフ（初期設定）	なし（すべてのボタンが有効）
メニュー	◉ ボタン
オール	⏻ ボタンを除くすべてのボタン

5. ◀ または ▶ で「完了」を選択します。
6. ◉ を押します。
   「オプション設定」メニューが閉じます。

参考

• ロックがかかっている状態で、ボタンを操作すると「Locked」と画面に表示されます。

3-7. Backlight Off Modeの設定をする

「ブリリアンス」を下限値に設定したときの状態を設定できます。

設定	状態
オン	「ブリリアンス」を下限値にすると、バックライトが消灯し画面が真っ暗になります。 （ただし、調整メニュー表示時、「入力信号エラー」表示時、EIZOロゴ表示時などを除く）
オフ	「ブリリアンス」を下限値にしても、画面は真っ暗になりません。

設定方法

1. ⏻ を5秒以上押して、モニターの電源を切ります。
2. ⮌ を押しながら ⏻ を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「Backlight Off Mode」を選択し、◉ を押します。
4. ◀ または ▶ で「オン」または「オフ」を選択し、◉ を押します。
5. ◀ または ▶ で「完了」を選択します。
6. ◉ を押します。
   「オプション設定」メニューが閉じます。

3-8. ECDISインジケータのオン/オフを設定する

この設定を「オン」にするとECDISインジケータが点灯します。モニターの明るさを調整する目安としてください。

ECDISインジケータの状態	モニターの状態
	モニターのブリリアンスがECDISの調整値に設定されています。
	モニターのブリリアンスがECDISの調整値より高く設定されています。
	モニターのブリリアンスがECDISの調整値より低く設定されています。
	ECDISインジケータは、次の場合は点灯しません。 • 「ECDISインジケータ」：「オフ」時 • ECDISの調整値から大きくはずれている • 正しい信号が入力されていない

注意点

• ECDISインジケータは、モニターの表示モードが「Day」、「Dusk」、または「Night」の時に有効になります。
• 表示モードはモニターの操作では変更できません。システムからの制御で変更できます。

設定方法

1. ⏻を5秒以上押して、モニターの電源を切ります。
2. ⮌を押しながら⏻を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「ECDISインジケータ」を選択し、⦿を押します。
4. ◀または▶で「オン」または「オフ」を選択し、⦿を押します。
5. ◀または▶で「完了」を選択します。
6. ⦿を押します。
   「オプション設定」メニューが閉じます。

3-9. 初期設定に戻す

リセットには、カラー調整のみを初期設定に戻すカラーリセットと、すべての設定内容を初期設定に戻すオールリセットの2種類があります。また、画面の明るさを初期設定に戻す機能があります。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- 初期値については、「主な初期設定値」（P.48）を参照してください。

● カラー調整値をリセットする

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、◉を押します。
2. 「カラー」で「カラーリセット」を選択し、◉を押します。
3. ◀または▶で「実行」を選択します。
4. ◉を押します。
   カラー調整値が初期設定になります。

● すべての設定内容をリセットする

すべての設定内容を初期設定に戻します（「入力」、「オプション設定」メニューは除く）。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、◉を押します。
2. 「ツール」で「オールリセット」を選択し、◉を押します。
3. ◀または▶で「実行」を選択します。
4. ◉を押します。
   「入力」および「オプション設定」メニューを除くすべての設定内容が初期設定になります。

● 画面の明るさを初期設定に戻す

明るさの設定値を初期設定に戻します。

注意点

- この機能を実行すると、実行前の状態に戻すことはできません。

設定方法

1. 本体前面の◀または▶を押しながら◉を押します。
   明るさの設定値が初期設定に戻ります。

第 4 章　タッチパネルの設定（FDS1904T/FDU2603WT）

ここでは、FDS1904T/FDU2603WTを次の条件を満たす環境で使用する場合の設定について説明しています。

- コンピュータとモニターをUSBケーブルで接続している
- OSがWindows 8.1 / Windows 8 / Windows 7である

注意点

- FDS1904T/FDU2603WTを次の環境で使用する場合は、タッチパネルドライバの取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。
  - コンピュータとモニターをUSBケーブルで接続し、OSがWindows XPの場合
  - コンピュータとモニターをRS-232Cケーブルで接続している場合

4-1. タッチパネルのキャリブレーションをする

注意点

- 大きな導電物の影響を受けやすいため、手や金属などを画面に近づけないでください。
- 操作中に「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってください。

1. Windowsのコントロール パネルを開きます。

開き方はOSによって異なります。

Windows 8.1

1. 「スタート」画面下の ⊕ をクリックします
   「アプリ」画面が表示されます。
2. 「Windowsシステムツール」内の「コントロールパネル」をクリックします。

Windows 8

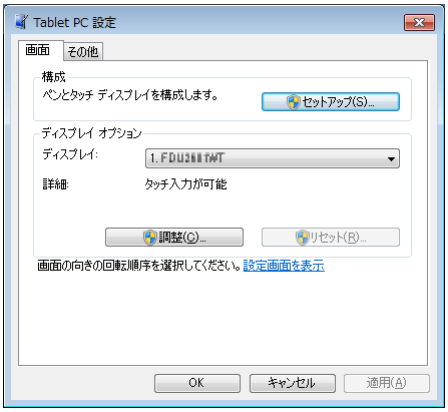
1. 「スタート」画面上のタイルがない場所でマウスの右ボタンをクリックします。
   画面の下部にアプリ コマンドが表示されます。
2. 「すべてのアプリ」をクリックします。
3. 「Windowsシステム ツール」内の「コントロール パネル」をクリックします。

Windows 7

1. 「スタート」-「コントロール パネル」をクリックします。

2. 「ハードウェアとサウンド」-「タブレットPC設定」（Windows 8.1 / Windows 8）/「Tablet PC設定」（Windows 7）をクリックします。

「タブレットPC設定」/「Tablet PC設定」画面が表示されます。



3. 「画面」タブの「セットアップ」をクリックします。

背景が白色のタッチスクリーン指定画面が表示されます。

注意点

- モニターをマルチモニター環境で使用する場合は、表示される画面に従って、タッチスクリーンを指定してください。

4. 画面を指でタッチします。

タッチした画面がタッチスクリーンであることが認識されます。

5. キーボードの「Enter」を押します。

「タブレットPC設定」/「Tablet PC設定」画面に戻ります。

6. 「調整」をクリックします。

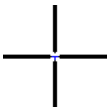
背景が白色のキャリブレーション画面が表示されます。

注意点

- モニターをマルチモニター環境で使用する場合は、「ディスプレイ」のプルダウンメニューでキャリブレーションをおこなうモニターを選択してから、「調整」をクリックしてください。

7. タッチマーカー（十字）を指で数秒間タッチして離します。

タッチマーカーは画面の左上、右上、左下、右下の順で16箇所表示されます。



参考

- 2回目以降、タッチマーカーの表示は4箇所となります。

8. キャリブレーションが完了したら、「はい」をクリックして調整データを保存します。

9. 「OK」をクリックして画面を閉じます。

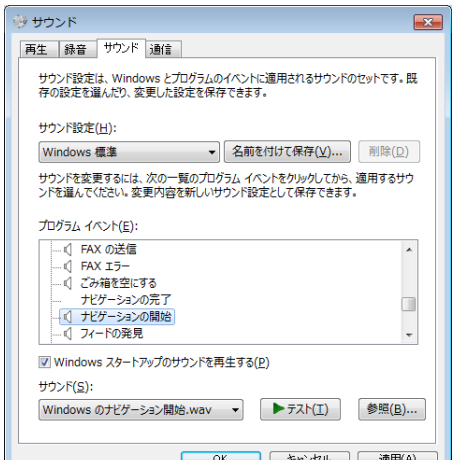
4-2. タッチパネルの操作設定をおこなう

1. Windowsのコントロール パネルを開きます。

開き方はOSによって異なります（P.25参照）。

2. 「ハードウェアとサウンド」-「ペンとタッチ」をクリックします。

「ペンとタッチ」画面が表示されます。



「ペンとタッチ」画面でタッチパネルの操作設定をおこないます。設定の詳細は、各設定画面やWindowsのヘルプなどを参照してください。

3. 設定が完了したら、「OK」をクリックして画面を閉じます。

4-3. タッチ音を設定する

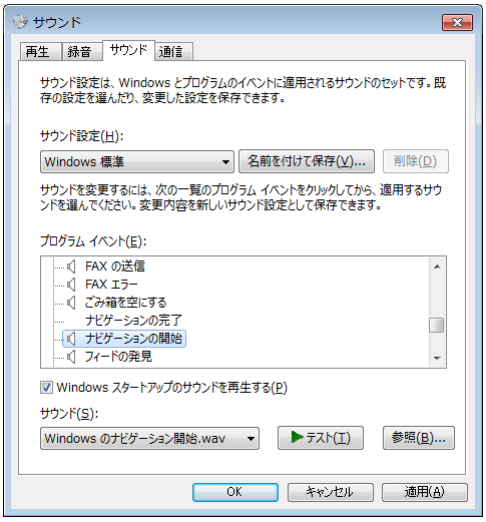
画面にタッチしたときの音を変更したり、消したりすることができます。

1. Windowsのコントロール パネルを開きます。

開き方はOSによって異なります（P.25参照）。

2. 「ハードウェアとサウンド」-「サウンド」-「システムが出す音の変更」をクリックします。

「サウンド」画面が表示されます。



3. 「プログラム イベント」の一覧から「ナビゲーションの開始」を選択します。

4. 「サウンド」のプルダウンメニューから、画面にタッチしたときの音を選択します。

参考

・音を消したい場合は、「（なし）」を選択してください。

5. 「OK」をクリックして画面を閉じます。

第 5 章　省電力機能について

5-1. パワーセーブの設定をする

コンピュータの状態と連動してモニターを省電力モードにする/しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- 主電源を切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- パワーセーブ移行の5秒前になると予告メッセージが表示されます。

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、◉を押します。
2. 「PowerManager」で「パワーセーブ」を選択し、◉を押します。
3. ◄または►で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら◉を押します。

省電力の流れ

アナログ信号入力の場合

「VESA DPM」に準拠しています。

コンピュータの状態		モニターの状態
オン		オペレーションモード
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	省電力モード

デジタル信号入力の場合

「DVI DMPM」に準拠しています。
コンピュータの設定に連動し5秒後に省電力モードに入ります。

コンピュータの状態	モニターの状態
オン	オペレーションモード
省電力モード	省電力モード

省電力モードからの復帰方法

モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。

5-2. モニターの自動電源切断機能の設定をする

モニターの省電力モードが一定時間続いたときに、モニターの電源を自動的に切る/切らないの切り替えができます。

設定範囲

オフ、0、1、2、3、4、5、10、15、20、25、30、45min、1、2、3、4、5H

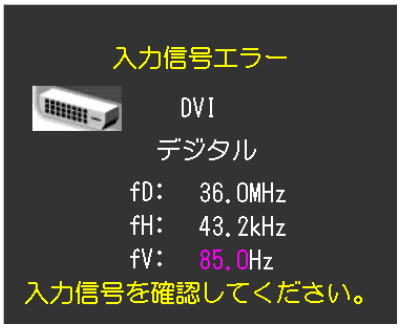
設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、◉を押します。
2. 「PowerManager」で「Ecoタイマー」を選択し、◉を押します。
3. ◄または►で「オフ」またはモニターの電源が切れるまでの時間を選択します。
4. 設定が完了したら◉を押します。

第 6 章　こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはEIZOサポートにご相談ください。

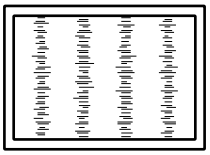
6-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない • すべての操作ボタンが点灯しない	• 電源コードは正しく接続されていますか。 • 主電源を入れてください。 • 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
• ⏻ ボタンのみ点灯：橙色	• ⏻ を押してください。
• すべての操作ボタンが点灯：橙色	• 画面の明るさを調整してみてください。 • マウス、キーボードを操作してみてください。 • コンピュータの電源は入っていますか。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
• 信号が入力されていない場合の表示です。 例： 	• コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 • コンピュータの電源は入っていますか。 • 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 • 入力信号を切り替えてみてください。（「入力信号を切り替える」（P.37）参照）。
• 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。（範囲外の周波数はマゼンタで表示されます。） 例：  fD：ドットクロック （デジタル信号入力時のみ表示されます） fH：水平走査周波数 fV：垂直走査周波数	• コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（セットアップマニュアル「対応解像度」参照）。 • コンピュータを再起動してみてください。 • グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

6-2. 画面に関する症状（デジタル・アナログ共通）

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる/暗すぎる	• 調整メニューの「ブリリアンス」を調整してください。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZOサポートにご相談ください。）
2. 画面が突然暗くなった/調整メニューの「ブリリアンス」の値を上げることができない	• この製品は常に本体内部の温度を監視しています。内部が高温になり、一定の温度を超えると、温度を下げるため自動的に次の状態になります。 - 「ブリリアンス」の設定値が下がる - 「ブリリアンス」の設定値を上げることができない この状態は、内部の温度が下がると元に戻ります。 また、「ブリリアンス」を下げても、本体内部の温度がさらに高くなった場合には、「WARNING」のメッセージが表示され、自動的にモニターの電源が切れます。（電源ランプが緑色に点滅します。）
3. 文字がぼやけて見える	• コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（セットアップマニュアル「対応解像度」参照）。 • 調整メニューの「輪郭補正」で調整してみてください（「輪郭補正をする」（P.18）参照）。
4. 残像が現れる	• この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 • 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
5. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
6. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを押した跡が消えない	• 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
7. 画面にノイズが現れる	• HDCP方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
8. 画面を拭いても曇りが取れない/ガラスの内側に結露が生じた	• 画面を拭いても曇りが取れない場合は、パネルを保護しているガラスの内側に結露が生じていることがあります。この場合は、モニターの電源を入れて画面を表示してください。しばらくすると結露は消えます。また、ドライヤーなどでガラスを温めることで結露が消えるまでの時間が短くなる場合があります。なお、このようにガラスの内側に結露が発生しても、製品の故障や劣化には影響はありません。

6-3. 画面に関する症状（アナログのみ）

症状	原因と対処方法
1. 画像がずれている 	• 調整メニューの「ポジション」で画像の位置を合わせてください（「表示位置のずれを直す」（P.15）参照）。 • グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
2. 画面に縦線が出ている/ 画面の一部がちらついている 	• 調整メニューの「クロック」で調整してみてください（「縦縞を消す」（P.14）参照）。
3. 画面全体がちらつく、にじむように見える 	• 調整メニューの「フェーズ」で調整してみてください（「ちらつきやにじみをとる」（P.15）参照）。

6-4. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 画面に次のようなメッセージが表示される WARNING: Fan not working	• 本体の冷却ファンが正常に動作していないときに表示されます。本体背面の冷却ファンの状態を確認してください。
2. 調整メニューが表示できない	• 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「3-6. 操作ボタンをロックする」（P.22）参照）。 • ロックが機能していると、画面に「Locked」と表示されます。
3. ファンの動作音が気になる	• この製品は、本体内部の温度上昇を抑えるための冷却ファンを内蔵しています。設置位置によっては動作音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

6-5. タッチパネルに関する症状（FDS1904T/FDU2603WTのみ）

症状	原因と対処方法
1. タッチ操作が効かない	• モニターとコンピュータがUSBケーブルまたはRS-232Cケーブルで接続されていることを確認してください。 • モニターの電源を入れなおしてみてください。 • モニターおよびコンピュータの電源コードのアースが接地されていることを確認してください。アースが接地されていないと、誤動作の原因となることがあります。 • TPOffsetでタッチパネルの感度調整を実行してみてください。
2. タッチ位置とカーソル位置がずれる/カーソルが飛ぶ	• セットアップマニュアルに記載のケーブルでモニターとコンピュータを接続してください。変換アダプタなどを利用すると、タッチパネルが正しく動作しない場合があります。 • モニターの電源を入れなおしてみてください。 • 再度キャリブレーションを実行してください。 • モニターおよびコンピュータの電源コードのアースが接地されていることを確認してください。アースが接地されていないと、誤動作の原因となることがあります。 • TPOffsetでタッチパネルの感度調整を実行してみてください。 • モニターの位置や角度を変更すると、カーソルが飛ぶ場合があります。 • 金属をパネル面に近づけた状態で使用するとカーソル位置がずれる場合があります。 • タッチパネルが汚れていると、誤動作する場合があります。「クリーニングの仕方」（P.4）を参照し、パネル面のクリーニングをおこなってください。 • パネル面のクリーニングに帯電防止剤入りのクリーナを使用するとタッチパネルの感度に影響し、カーソル位置がずれる原因になることがあります。 • コンピュータやモニターの起動時、およびケーブルの接続後、5秒間はタッチしないでください。カーソル位置がずれたり、タッチ操作が効かなくなる場合があります。その場合は、およそ2分間タッチパネルに触れずにおくか、モニターの電源を入れなおしてください。それでも改善しないときは、再度キャリブレーションを実行してください。
3. カーソルがタッチ位置に表示されず、モニターの中央を中心に点対称の位置に表示される	• 再度キャリブレーションを実行してください。
4. カーソルが揺れる/描画線が安定しない	• モニターおよびコンピュータの電源コードのアースが接地されていることを確認してください。アースが接地されていないと、誤動作の原因となることがあります。 • TPOffsetでタッチパネルの感度調整を実行してみてください。 • 金属の影響がある場合、カーソルが安定しない場合があります。 • 複数台のモニターを近接して設置している場合は、モニター間の間隔をあけて設置してください。
5. （ご使用のOSがWindows 8.1 / Windows 8 / Windows 7の場合） キャリブレーションが正しく動作しない	• いったん調整状態をリセット（Windowsコントロールパネルの「タブレットPC設定」/「Tablet PC設定」の「画面」タブで「リセット」をクリック）して、再度キャリブレーションを実行してください。

症状	原因と対処方法
6. （ご使用のOS がWindows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 の場合） タッチ音が鳴らない	• コンピュータの音声出力端子からのみ音が出力されます。タッチ音を鳴らす場合はスピーカーを接続してください。 • 操作の対象となるものが何もない場所をタッチしても音は鳴りません。

注意点

• TPOffset（タッチパネルの感度調整用ソフトウェア）については、TPOffsetの取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。

第 7 章　ご参考に

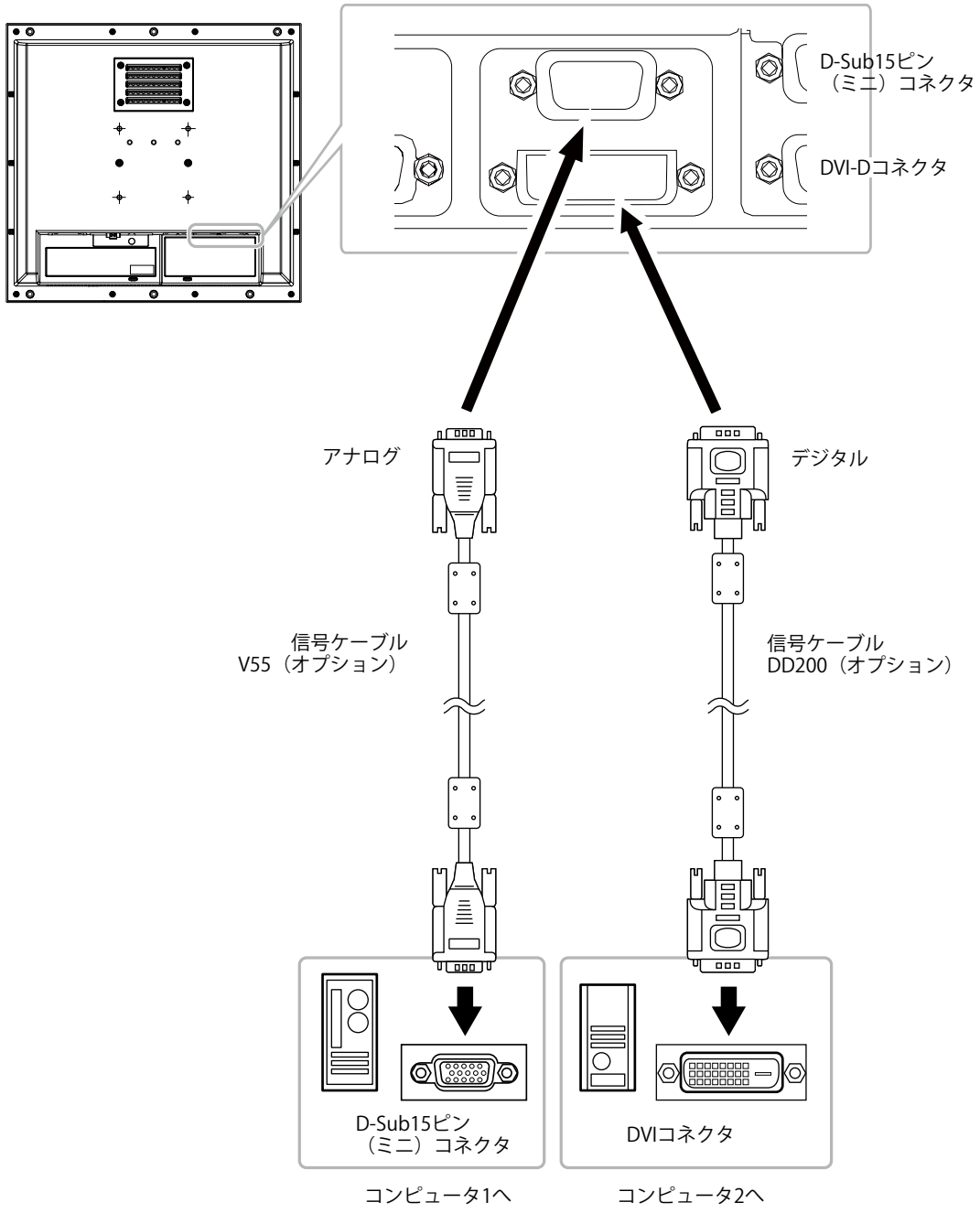
7-1. 複数のコンピュータを接続する

この製品は、複数のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

注意点

- タッチパネルモニターは、1台のコンピュータでの使用を前提としています。複数のコンピュータと接続する場合は、RS-232Cケーブルをタッチ操作するコンピュータ（1台のみ）に接続してください。

接続例



● 入力信号を切り替える

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、◉を押します。
2. 「ツール」で「入力」を選択し、◉を押します。
3. ◀または▶で「D-SUB」または「DVI」を選択します。
4. 設定が完了したら◉を押します。

● 入力信号の切替方法を設定する

設定	機能
オート	コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。 コンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に、他の信号を表示します。
マニュアル	表示中のコンピュータの信号のみを検知します。調整メニューで表示させたい入力信号を選択してください。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、◉を押します。
2. 「ツール」で「入力切替」を選択し、◉を押します。
3. ◀または▶で「オート」または「マニュアル」を選択します。
4. 設定が完了したら◉を押します。

参考

- 「オート」が選択されている場合は、すべてのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみモニターの省電力機能が動作します。

7-2. モニター情報を表示する

● 信号情報を表示する

現在表示している入力信号の情報を表示します。

設定方法

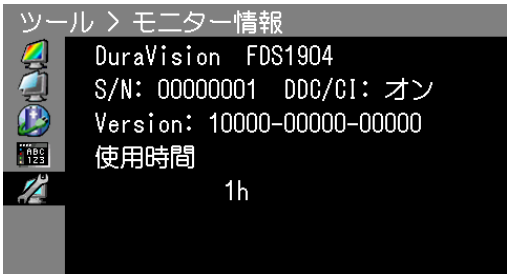
1. 調整メニューの「ツール」を選択し、⦿を押します。
2. 「ツール」で「入力信号情報」を選択し、⦿を押します。
   「入力信号情報」が表示されます。
   （例）

● モニター情報を表示する

この製品に関する情報を表示します。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、⦿を押します。
2. 「ツール」で「モニター情報」を選択し、⦿を押します。
   「モニター情報」が表示されます。
   製品名、製造番号、DDC/CI設定、ファームウェアバージョン、使用時間などを表示します。
   （例）



注意点

・工場での検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

7-3. 冷却ファンの交換方法

この製品の冷却ファンは、次の手順で交換することができます。

注意点

- ファンを交換する場合は、必ず手順どおりにおこなってください。誤った取り扱いに対しては、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

参考

- 交換部品については、EIZOサポートにお問い合わせください。

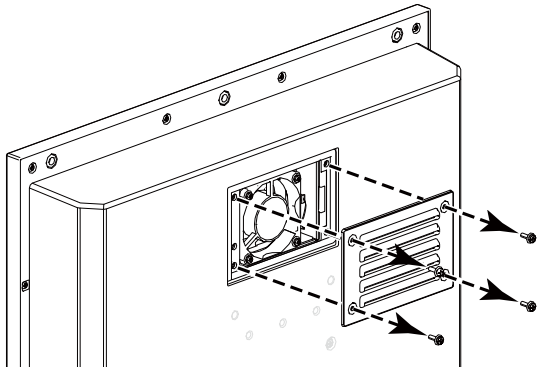
交換方法

1. モニターを筐体から取り外します。

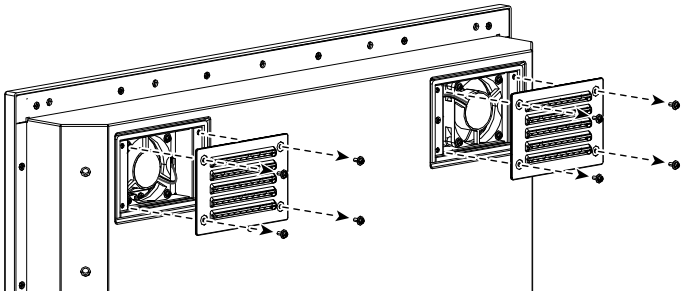
1. モニターを固定しているねじを取り外します。
2. パネル面が傷つかないよう、安定した場所にやわらかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. ファンのカバーを取り外します。

カバーを固定しているねじ（4箇所）を取り外します。



FDS1904/FDS1904T



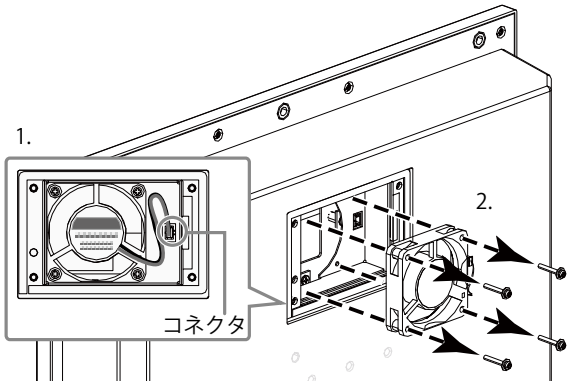
FDU2603W/FDU2603WT

3. ファンを取り外します。

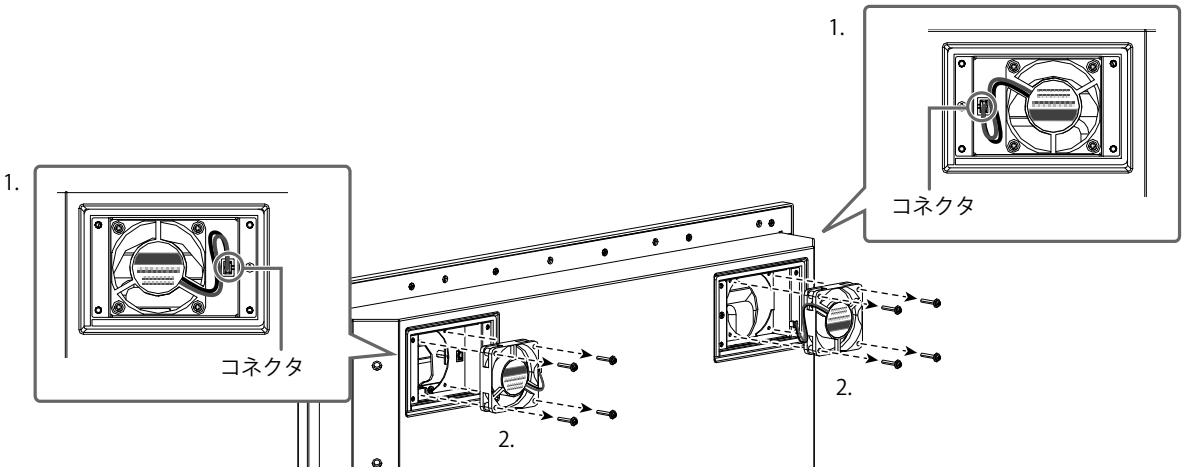
1. モニターに接続しているケーブルを取り外します。
2. ファンを固定しているねじ（4箇所）を取り外します。

注意点

- ケーブルはコネクタ部分を持って取り外してください。ケーブル部分を引っ張ると、コネクタが破損する可能性があります。



FDS1904/FDS1904T



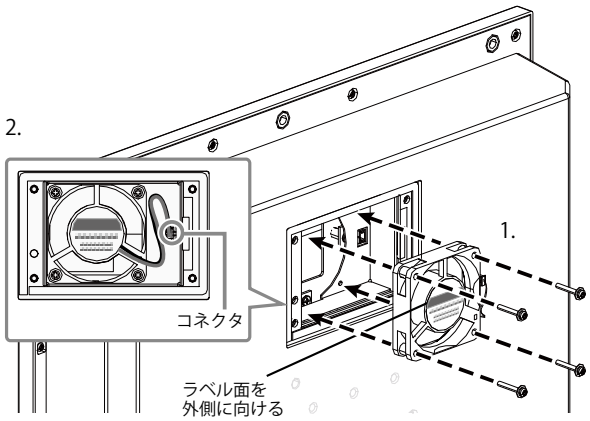
FDU2603W/FDU2603WT

4. 新しいファンを取り付けます。

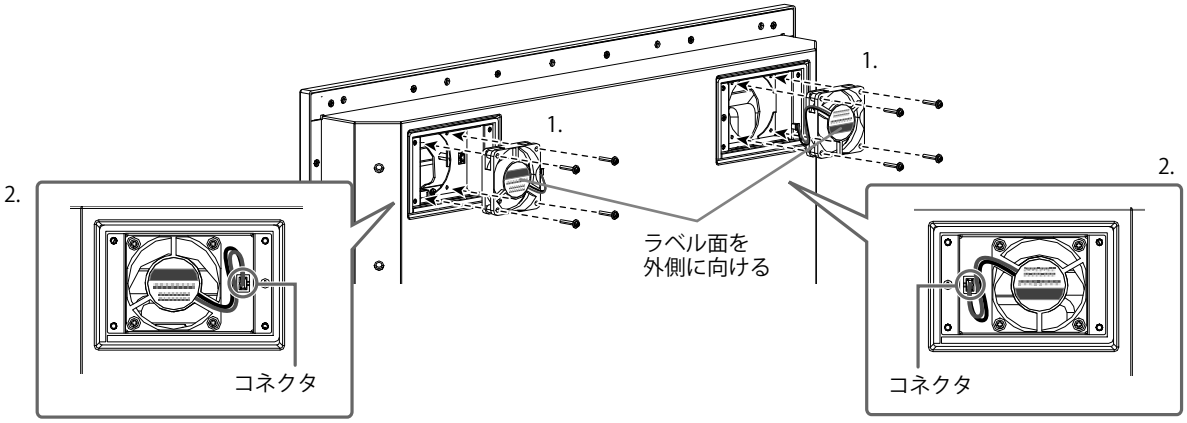
注意点

- ファンの取り扱いに注意してください。ファンを落として衝撃を与えるたりすると故障の原因となります。
- ファンの向きに注意して取り付けてください。

1. 手順3（P.40）で取り外したねじを使って、ファンをモニターに固定します。（推奨トルク：8.0±2kgf･cm/0.78±0.2N･m）
2. ケーブルをモニターに接続します。
   コネクタを確実に接続してください。



FDS1904/FDS1904T



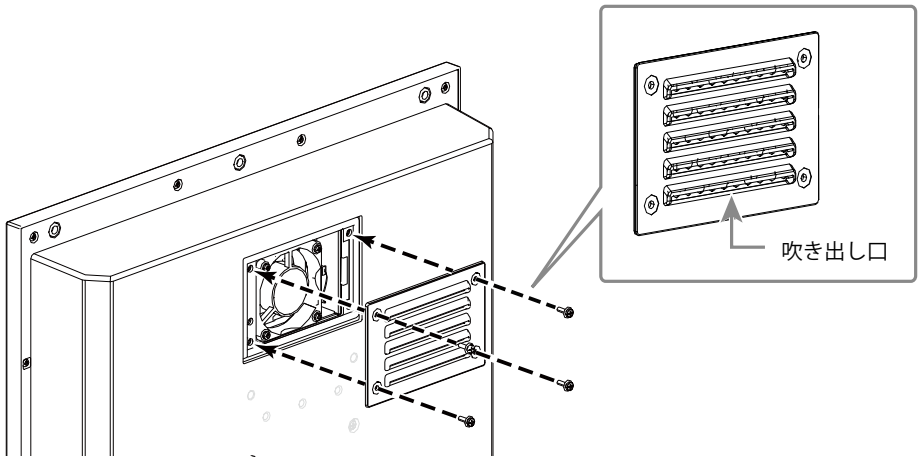
FDU2603W/FDU2603WT

5. ファンのカバーを取り付けます。

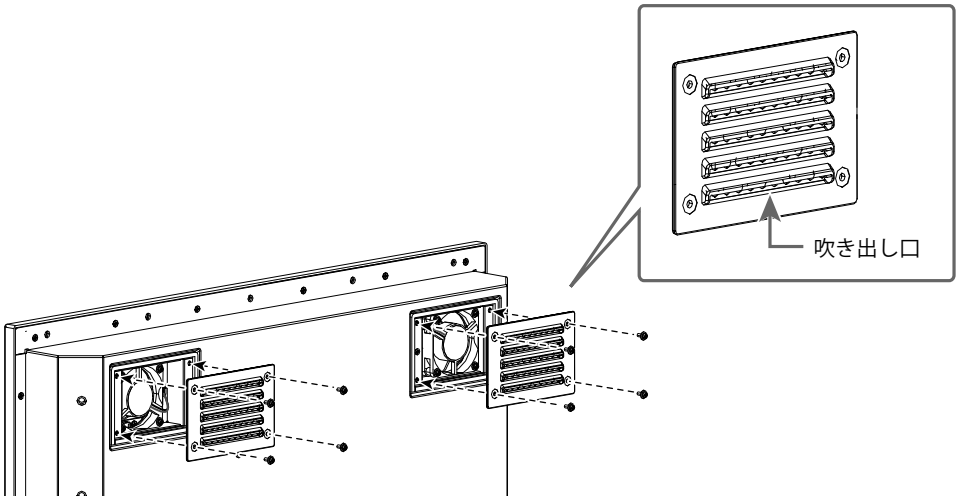
手順2（P.39）で取り外したねじを使って、カバーをモニターに固定します。

注意点

・カバーは「吹き出し口」を下に向けて取り付けてください。



FDS1904/FDS1904T



FDU2603W/FDU2603WT

6. モニターを筐体に取り付けます。

7-4. 仕様

● FDS1904/FDS1904-OP

液晶パネル	種類		VA	
	バックライト		LED	
	サイズ		48 cm（19.0）型（可視域対角48.1 cm）	
	解像度		1280ドット×1024ライン	
	表示面積（横×縦）		376.3mm×301.0mm	
	画素ピッチ		0.294 mm	
	表示色		約1677万色	
	視野角 （水平/垂直、標準値）		178˚/178˚	
	最大輝度		FDS1904： 590cd/m^2 FDS1904-OP： 600cd/m^2	
	コントラスト比 （標準値）		2000:1	
	応答速度（標準値）		20ms（黒→白→黒）	
保護ガラス	表面処理		アンチリフレクション	
	表面硬度		5H	
映像信号	入力端子		DVI-Dコネクタ × 1、D-Sub15ピン（ミニ）×1	
	出力端子		D-Sub15ピン（ミニ） × 1	
	デジタル走査周波数 （水平/垂直）		31kHz～64kHz / 59Hz～61Hz（VGA TEXT: 69Hz～71Hz）	
	アナログ走査周波数 （水平/垂直）		31kHz～80kHz / 56Hz～76Hz	
	ドットクロック（最大）		デジタル 108MHz アナログ 135MHz	
	同期信号		セパレート、TTL、正/負極性 コンポジット、TTL、正/負極性 シンクオングリーン、0.5Vp-p、負極性	
通信	入力端子		RS-232C： D-Sub9ピン（メス）	
電源	電源入力	AC	定格 100-240V（動作範囲：AC85V-264V）、50/60Hz、0.65A-0.3A	
		DC	定格 +24V（動作範囲：+30%/-10%）、2.7A（DC24V）	
	最大消費電力		64W以下	
	省電力時消費電力	AC	9.0W以下	（DVI入力時、USB機器非接続時、「入力切替」：「マニュアル」設定時、DDC/CI：オフ時）
		DC	6.0W以下	
	待機時消費電力	AC	7.0W以下	（DVI入力時、USB機器非接続時、「入力切替」：「マニュアル」設定時、DDC/CI：オフ時）
		DC	5.0W以下	
機構	外観寸法		429mm×406 mm×74.5mm（突起部を除く）	
	質量		FDS1904： 約5.9kg FDS1904-OP： 約6.2kg	
動作環境条件	温度		-15˚C～55˚C	
	湿度		10%～90%（R.H.,結露なきこと）	
輸送/保存環境条件	温度		-20˚C～60˚C	
	湿度		10%～92%（R.H.,結露なきこと）	
視距離（推奨）			1014mm以上（※IEC 62288に基づく）	
保護構造			前面：IP65、裏面：IP22（横置き のみ）	

● FDS1904T/FDS1904T-OP

液晶パネル	種類		VA	
	バックライト		LED	
	サイズ		48 cm（19.0）型（可視域対角48.1 cm）	
	解像度		1280ドット×1024ライン	
	表示面積（横×縦）		376.3mm×301.0mm	
	画素ピッチ		0.294 mm	
	表示色		約1677万色	
	視野角 （水平/垂直、標準値）		178˚/178˚	
	最大輝度		FDS1904T：　540cd/m^2 FDS1904T-OP：　580cd/m^2	
	コントラスト比 （標準値）		2000:1	
	応答速度（標準値）		20ms（黒→白→黒）	
タッチパネル	方式		投影型静電容量方式	
	通信方式		USB転送、RS-232C転送（※同時に使用することはできません。）	
	表面処理		アンチグレア、防指紋	
	表面硬度		5H	
	対応OS		Microsoft Windows 8.1（32ビット版/64ビット版） Microsoft Windows 8（32ビット版/64ビット版） Microsoft Windows 7 Service Pack 1（32ビット版/64ビット版） Microsoft Windows XP Service Pack 3（32ビット版） （Mac OSには対応していません。）	
	同時タッチ点数		5点（Microsoft Windows XPは1点タッチのみ）	
映像信号	入力端子		DVI-Dコネクタ × 1、D-Sub15ピン（ミニ）×1	
	出力端子		D-Sub15ピン（ミニ） × 1	
	デジタル走査周波数 （水平/垂直）		31kHz～64kHz / 59Hz～61Hz（VGA TEXT: 69Hz～71Hz）	
	アナログ走査周波数 （水平/垂直）		31kHz～80kHz / 56Hz～76Hz	
	ドットクロック（最大）		デジタル　108MHz アナログ　135MHz	
	同期信号		セパレート、TTL、正/負極性 コンポジット、TTL、正/負極性 シンクオングリーン、0.5Vp-p、負極性	
通信	入力端子		RS-232C：　D-Sub9ピン（メス） RS-232C：　D-Sub9ピン（オス）	
USB	ポート		アップストリーム × 1	
	規格		USB Specification Rev.2.0	
電源	電源入力	AC	定格 100-240V（動作範囲：AC85V-264V）、50/60Hz、0.65A-0.3A	
		DC	定格 +24V（動作範囲：+30%/-10%）、2.7A（DC24V）	
	最大消費電力		64W以下	
	省電力時消費電力	AC	9.0W以下	（DVI入力時、USB機器非接続時、「入力切替」：「マニュアル」設定時、DDC/CI：オフ時）
		DC	6.0W以下	
	待機時消費電力	AC	7.0W以下	（DVI入力時、USB機器非接続時、「入力切替」：「マニュアル」設定時、DDC/CI：オフ時）
		DC	5.0W以下	
機構	外観寸法		429mm×406mm×74.5mm（突起部を除く）	
	質量		FDS1904T：　約6.4kg FDS1904T-OP：　約6.7kg	

動作環境条件	温度	-15˚C～55˚C
	湿度	10%～90%（R.H.,結露なきこと）
輸送/保存環境条件	温度	-20˚C～60˚C
	湿度	10%～92%（R.H.,結露なきこと）
視距離（推奨）		1014mm以上（※IEC 62288に基づく）
保護構造		前面：IP65、裏面：IP22（横置きのみ）

● FDU2603W/FDU2603W-OP

液晶パネル	種類		VA
	バックライト		LED
	サイズ		65 cm（25.5）型（可視域対角64.8 cm）
	解像度		1920ドット×1200ライン
	表示面積（横×縦）		550.0mm×343.8mm
	画素ピッチ		0.2865 mm
	表示色		約1677万色
	視野角 （水平/垂直、標準値）		176˚/176˚
	最大輝度		FDU2603W： 490cd/m^2 FDU2603W-OP： 500cd/m^2
	コントラスト比 （標準値）		1500:1
	応答速度（標準値）		20ms（黒→白→黒）
保護ガラス	表面処理		アンチリフレクション
	表面硬度		5H
映像信号	入力端子		DVI-Dコネクタ × 1、D-Sub15ピン（ミニ）×1
	出力端子		D-Sub15ピン（ミニ） × 1
	デジタル走査周波数 （水平/垂直）		31kHz～76kHz / 59Hz～61Hz（VGA TEXT: 69Hz～71Hz）
	アナログ走査周波数 （水平/垂直）		31kHz～81kHz / 56Hz～76Hz
	ドットクロック（最大）		デジタル 162MHz アナログ 162MHz
	同期信号		セパレート、TTL、正/負極性 コンポジット、TTL、正/負極性 シンクオングリーン、0.3Vp-p、負極性
通信	入力端子		RS-232C： D-Sub9ピン（メス）
電源	電源入力	AC	定格 100-240V（動作範囲：AC85V-264V）、50/60Hz、1.2A-0.6A
		DC	定格 +24V（動作範囲：+30%/-10%）、4.5A（DC24V）
	最大消費電力		108W以下
	省電力時消費電力	AC	10.0W以下
		DC	7.0W以下
	待機時消費電力	AC	10.0W以下
		DC	7.0W以下
機構	外観寸法		624mm×456mm×86mm（突起部を除く）
	質量		FDU2603W： 約14.5kg FDU2603W-OP： 約14.9kg
動作環境条件	温度		-15˚C～55˚C
	湿度		10%～90%（R.H.,結露なきこと）
輸送/保存環境条件	温度		-20˚C～60˚C
	湿度		10%～90%（R.H.,結露なきこと、湿球温度39℃以下）
視距離（推奨）			988mm以上（※IEC 62288に基づく）
保護構造			前面：IP65、裏面：IP22

● FDU2603WT/FDU2603WT-OP

液晶パネル	種類		VA
	バックライト		LED
	サイズ		65 cm（25.5）型（可視域対角64.8 cm）
	解像度		1920ドット×1200ライン
	表示面積（横×縦）		550.0mm×343.8mm
	画素ピッチ		0.2865 mm
	表示色		約1677万色
	視野角 （水平/垂直、標準値）		176˚/176˚
	最大輝度		FDU2603WT：　470cd/m^2 FDU2603WT-OP：　500cd/m^2
	コントラスト比 （標準値）		1500:1
	応答速度（標準値）		20ms（黒→白→黒）
タッチパネル	方式		投影型静電容量方式
	通信方式		USB転送、RS-232C転送（※同時に使用することはできません。）
	表面処理		アンチリフレクション
	表面硬度		5H
	対応OS		Microsoft Windows 8.1（32ビット版/64ビット版） Microsoft Windows 8（32ビット版/64ビット版） Microsoft Windows 7 Service Pack 1（32ビット版/64ビット版） Microsoft Windows XP Service Pack 3（32ビット版） （Mac OSには対応していません。）
	同時タッチ点数		5点（Microsoft Windows XPは1点タッチのみ）
映像信号	入力端子		DVI-Dコネクタ × 1、D-Sub15ピン（ミニ）×1
	出力端子		D-Sub15ピン（ミニ） × 1
	デジタル走査周波数 （水平/垂直）		31kHz～76kHz / 59Hz～61Hz（VGA TEXT: 69Hz～71Hz）
	アナログ走査周波数 （水平/垂直）		31kHz～81kHz / 56Hz～76Hz
	ドットクロック（最大）		デジタル　162MHz アナログ　162MHz
	同期信号		セパレート、TTL、正/負極性 コンポジット、TTL、正/負極性 シンクオングリーン、0.3Vp-p、負極性
通信	入力端子		RS-232C：　D-Sub9ピン（メス） RS-232C：　D-Sub9ピン（オス）
USB	ポート		アップストリーム × 1
	規格		USB Specification Rev.2.0
電源	電源入力	AC	定格 100-240V（動作範囲：AC85V-264V）、50/60Hz、1.2A-0.6A
		DC	定格 +24V（動作範囲：+30%/-10%）、4.5A（DC24V）
	最大消費電力		108 W以下
	省電力時消費電力	AC	10.0W以下
		DC	7.0W以下
	待機時消費電力	AC	10.0W以下
		DC	7.0W以下
機構	外観寸法		624mm×456mm×86mm（突起部を除く）
	質量		FDU2603WT：　約15.1kg FDU2603WT-OP：　約15.9kg
動作環境条件	温度		-15˚C～55˚C
	湿度		10%～90%（R.H.,結露なきこと）

輸送/保存環境条件	温度	-20˚C～60˚C
	湿度	10%～90%（R.H.,結露なきこと、湿球温度39℃以下）
視距離（推奨）		988mm以上（※IEC 62288に基づく）
保護構造		前面：IP65、裏面：IP22

主な初期設定値

ブリリアンス	FDS1904/FDS1904T	1-Custom： 100%（255/255） 2-Day： 65%（166/255） 3-Dusk： 56%（144/255） 4-Night： 11%（28/255）
	FDU2603W/FDU2603WT	1-Custom： 100%（255/255） 2-Day： 67%（171/255） 3-Dusk： 60%（153/255） 4-Night： 11%（27/255）
画面サイズ		拡大
パワーセーブ		オフ
電源ランプ		4
Ecoタイマー		オフ
言語選択		英語
メニューポジション		中央
入力※1		D-SUB
入力切替		オート
操作ロック※1		オフ
DDC/CI※1		オン
設置方向※1		横置き
Backlight Off Mode※1		オン
ECDISインジケータ※1、※2		オン

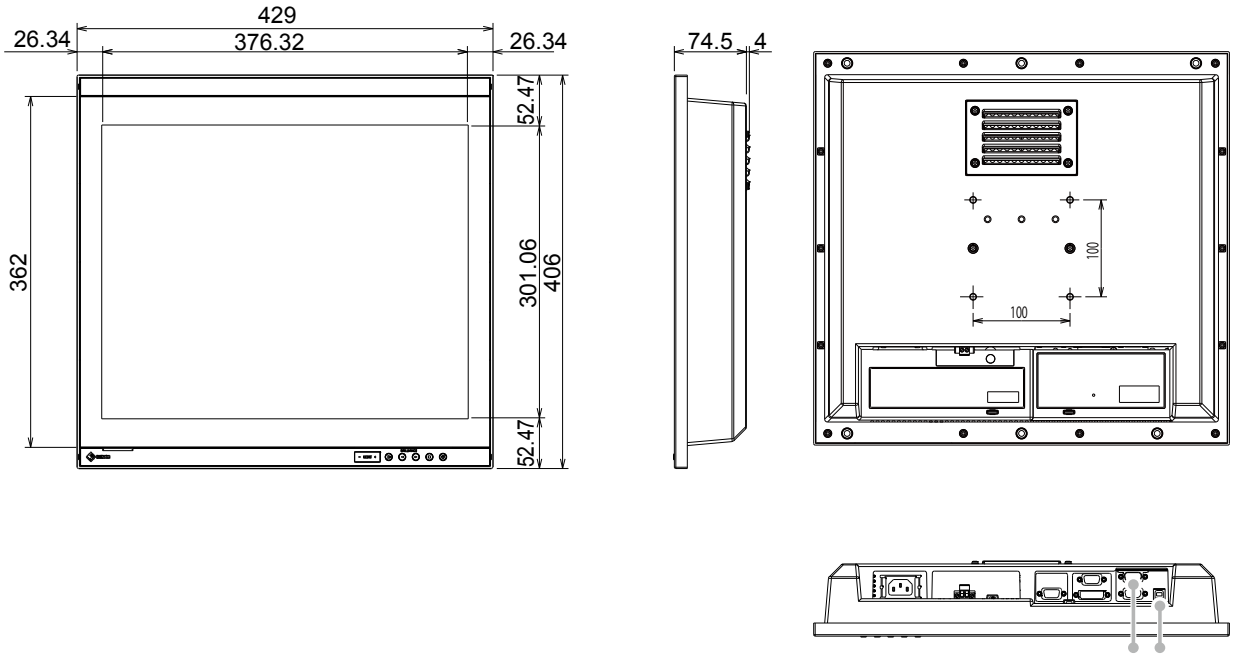
※1 「オールリセット」（「3-9. 初期設定に戻す」（P.24）参照）を実行しても初期設定値には戻りません。

※2 モニターの表示モードが「Day」、「Dusk」、または「Night」の時に有効になります。

外観寸法

● FDS1904 / FDS1904T

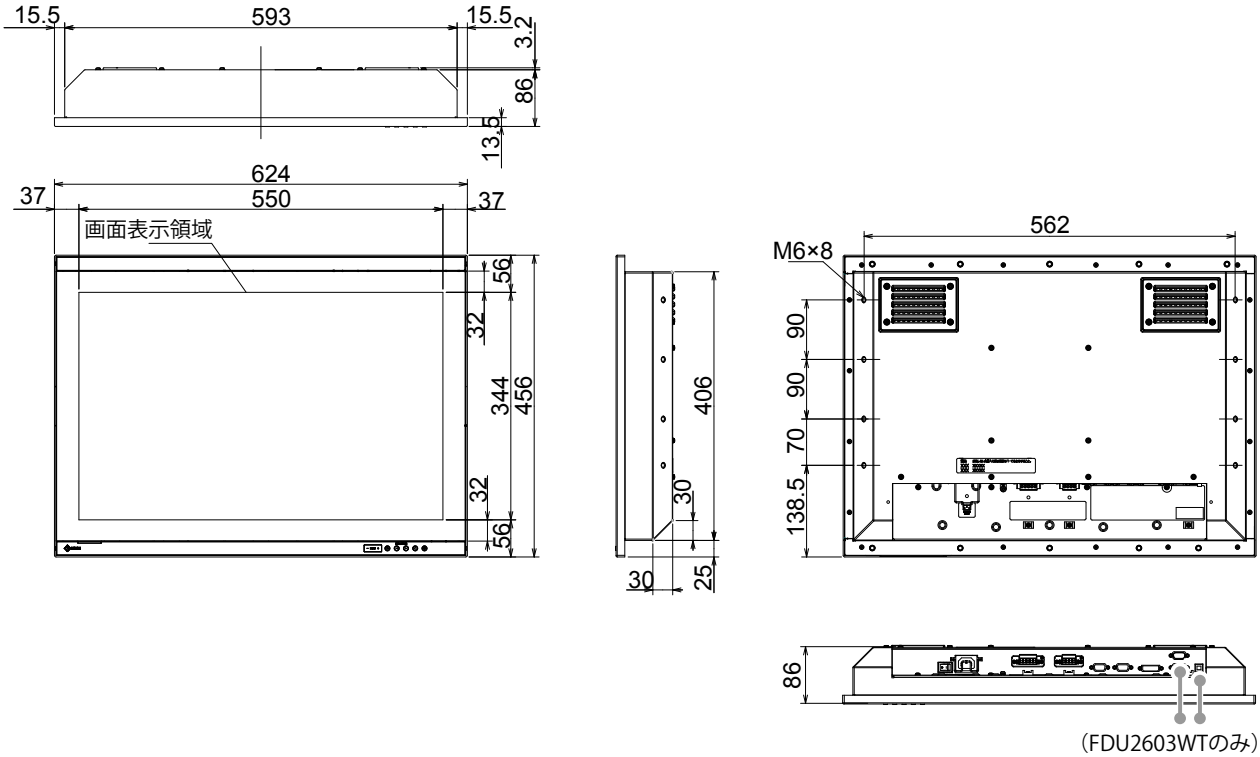
単位：mm



（FDS1904Tのみ）

● FDU2603W / FDU2603WT

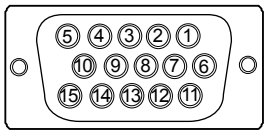
単位：mm



（FDU2603WTのみ）

● 入出力信号接続

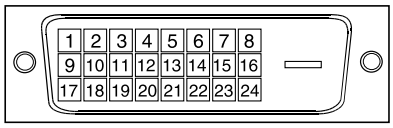
D-Sub15ピン（ミニ）コネクタ



ピンNo.	信号	ピンNo.	信号	ピンNo.	信号
1	Red Video	6	Red Video Ground	11	Ground
2	Green Video	7	Green Video Ground	12	Data （SDA）
3	Blue Video	8	Blue Video Ground	13	H.Sync
4	Ground	9	NC	14	V.Sync
5	NC	10	Ground	15	Clock （SCL）

（NC: 未接続）

DVI-Dコネクタ

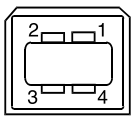


ピンNo.	信号	ピンNo.	信号	ピンNo.	信号
1	T.M.D.S. Data 2-	9	T.M.D.S. Data1-	17	T.M.D.S. Data0-
2	T.M.D.S. Data 2+	10	T.M.D.S. Data1+	18	T.M.D.S. Data0+
3	T.M.D.S. Data2/4 Shield	11	T.M.D.S. Data1/3 Shield	19	T.M.D.S. Data0/5 Shield
4	NC	12	NC	20	NC
5	NC	13	NC	21	NC
6	DDC Clock （SCL）	14	+5V Power	22	T.M.D.S. Clock shield
7	DDC Data （SDA）	15	Ground (return for +5V, Hsync and Vsync)	23	T.M.D.S. Clock+
8	Analog Vertical Sync	16	Hot Plug Detect	24	T.M.D.S. Clock-

（NC: 未接続）

USBポート

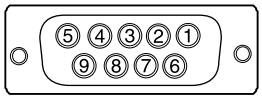
・アップストリーム（シリーズBコネクタ）



接点番号	信号	備考
1	VBUS	ケーブル電源
2	-Data	シリアルデータ
3	+Data	シリアルデータ
4	Ground	ケーブルグランド

RS-232Cポート

• D-Sub9ピン（メス）（モニター制御用）

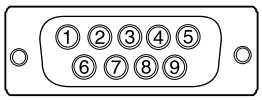


ピンNo.	信号	ピンNo.	信号	ピンNo.	信号
1	DCD	4	DTR	7	RTS
2	RXD	5	GND	8	CTS
3	TXD	6	DSR	9	RI

注意点

• モニター側がDCEになります。
• コンピュータとの接続にはストレートケーブル（オス-メス）を使用してください。

• D-Sub9ピン（オス）（タッチパネル制御用）



ピンNo.	信号	ピンNo.	信号	ピンNo.	信号
1	DCD	4	DTR	7	RTS
2	RXD	5	GND	8	CTS
3	TXD	6	DSR	9	RI

注意点

• モニター側がDTEになります。
• コンピュータとの接続にはクロスケーブル（メス-メス）を使用してください。

7-5. プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているアナログ信号のタイミングは次のとおりです。

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置などがずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

FDS1904/FDS1904T

解像度	周波数		
	ドットクロック：MHz	水平：kHz	垂直：Hz
640 x 480	25.18	31.47	59.94
640 x 480	31.50	37.86	72.81
640 x 480	31.50	37.50	75.00
720 x 400	28.32	31.47	70.09
800 x 600	36.00	35.16	56.25
800 x 600	40.00	37.88	60.32
800 x 600	50.00	48.08	72.19
800 x 600	49.50	46.88	75.00
1024 x 768	65.00	48.36	60.00
1024 x 768	75.00	56.48	70.07
1024 x 768	78.75	60.02	75.03
1152 x 864	108.00	67.50	75.00
1152 x 900	94.20	61.97	66.14
1152 x 900	107.50	71.86	76.20
1280 x 960	108.00	60.00	60.00
1280 x 1024	108.00	63.98	60.02
1280 x 1024	117.00	71.69	67.19
1280 x 1024	135.00	79.98	75.03

FDU2603W/FDU2603WT

解像度	周波数		
	ドットクロック：MHz	水平：kHz	垂直：Hz
640 x 480	25.18	31.47	59.94
640 x 480	31.50	37.86	72.81
640 x 480	31.50	37.50	75.00
720 x 400	28.32	31.47	70.09
800 x 600	36.00	35.16	56.25
800 x 600	40.00	37.88	60.32
800 x 600	50.00	48.08	72.19
800 x 600	49.50	46.88	75.00
1024 x 768	65.00	48.36	60.00
1024 x 768	75.00	56.48	70.07
1024 x 768	78.75	60.02	75.03
1152 x 864	108.00	67.50	75.00
1152 x 900	94.20	61.97	66.14
1152 x 900	107.50	71.86	76.20
1280 x 960	108.00	60.00	60.00
1280 x 1024	108.00	63.98	60.02
1280 x 1024	117.00	71.69	67.19
1280 x 1024	135.00	79.98	75.03
1600 x 1200	162.00	75.00	60.00
1600 x 1200	130.25	74.00	59.92
1680 x 1050	146.25	65.29	59.95
1920 x 1200	154.00	74.04	59.95

第 8 章　用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。
5000K：やや赤みがかった白色
6500K：昼光色と呼ばれる白色
9300K：やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この機種の場合は横1280個、縦1024個（FDS1904/FDS1904T）、横1920個、縦1200個（FDU2603W/FDU2603WT）の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1280×1024（FDS1904/FDS1904T）、1920×1200（FDU2603W/FDU2603WT）の解像度であれば、画像は画面全体（1対1）に表示されます。

クロック

アナログ信号入力方式のモニターにおいて、アナログ信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

シンクオングリーン

パソコンからモニターに送られる映像信号のうち、垂直同期信号、水平同期信号の各信号をグリーン信号に乗せて出力することです。

フェーズ

アナログ信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをお勧めします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをお勧めします。

DDC/CI（Display Data Channel / Command Interface）

VESAによって標準化された、コンピュータとモニター間で設定情報などを双方向にやりとりするための国際規格です。

DVI（Digital Visual Interface）

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。
伝送方式にTMDS、コネクタにDVIコネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応のDVI-Dコネクタと、デジタル/アナログ信号入力可能なDVI-Iコネクタがあります。

DVI DMPM（DVI Digital Monitor Power Management）

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン（オペレーションモード）とアクティブオフ（省電力モード）が必須となっています。

HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。
DVIコネクタやHDMIコネクタなどを経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。
出力側と入力側の双方の機器がHDCP対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

TMDS（Transition Minimized Differential Signaling）

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPM（Video Electronics Standards Association - Display Power Management）

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPM はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
Acrobat、Adobe、Adobe AIR、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ　システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。
AMD Athlon、AMD OpteronはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。
Apple、ColorSync、eMac、iBook、iMac、iPad、Mac、MacBook、Macintosh、Mac OS、PowerBook、QuickTimeはApple Inc.の登録商標です。
ColorMunki、Eye-One、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。
ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。
Spyder3、Spyder4はDataColor Holding AGの商標です。
ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。
GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。
Japan Color、ジャパンカラーは一般社団法人日本印刷産業機械工業会および一般社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。
JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。
NECは日本電気株式会社の登録商標です。
PC-9801、PC-9821は日本電気株式会社の商標です。
NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。
Intel、Intel Core、Pentium、Thunderboltは米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。
PlayStation、PS3、PSP、プレイステーションは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。
TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。
Windows、Windows Media、Windows Vista、SQL Server、Xbox 360、Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
YouTubeはGoogle Inc.の登録商標です。
FirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。
Kensington、MicroSaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。
EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。
ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO ScreenSlicer、i・Sound、Screen Administrator、UniColor Pro、Re/VueはEIZO株式会社の商標です。
C@T-one、FlexViewはEIZO株式会社の日本登録商標です。
その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ライセンス/著作権

この製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボールドを使用しています。

舶用規格

この製品は、IEC60945 4thに準拠しています。
装置カテゴリー：b）風雨からの防護形

船級型式承認

この装置は、次の船級の型式承認を取得予定です。
- NK（日本海事協会）
- DNV（ノルウェー船級協会）
- ABS（アメリカ船級協会）
- LR（ロイド船級協会）

※船級の取得状況については、当社Webサイトでご確認ください。http://www.eizo.co.jp

中国RoHS

关于电子信息产品污染控制标识

本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」，适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项，在自制造日起算的年限内，不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

• 有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅（Pb）	汞（Hg）	镉（Cd）	六价铬（Cr（VI））	多溴联苯（PBB）	多溴二苯醚（PBDE）
印刷电路板	×	○	○	○	○	○
机箱	○	○	○	○	○	○
液晶显示器	×	○	○	○	○	○
其他	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。
（企业可在此处，根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明）

第 2 版　2015 年 1 月
03V25044B1
(U.M-FDS1904)

Copyright © 2014-2015 EIZO株式会社 All rights reserved.